

会 議 録

会議の名称	平成30年度第7回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成31年1月28日(月)午後6時30分～8時30分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	本間雄一副議長、荒川照子委員、板橋三宏委員、岡野雅一委員、京谷恵子委員、佐々木眞理子委員、古澤立巳委員、吉田徹子委員、吉田廣子委員 事務局
欠席者	扱木道代議長
公開・非公開	公開(傍聴人 1人)
会議次第	1 協議事項 ・ハイティーン世代の実態について
会議資料	定期刊行物
会議録確認	本間雄一副議長

会 議 内 容 (要点記録)

1. 開 会

○副議長あいさつ

2. 協議事項

提言書（建議）のまとめについて、骨子の確認と、今後の進め方を協議した。

【委員】現時点で、骨子と一覧表のみで文章化していくのは厳しい。方向性にしても、委員間でイメージを共有して共通認識をもたないと、おそらく文章がバラバラになってしまうのではないか。

【委員】それぞれの意見が箇条書きになっているため、文量なども含め、みていく必要があると思う。

【委員】一覧表の中にある、「ハイティーンの疑問」については、まとめの中の『はじめに』で述べるのが良いのではないか。

【委員】骨子の中の『3. 理想』については、現時点では図で表されているが、図についても、個人の帰属をイメージしたもの、地域全体をイメージしたものなど、それぞれになっている。

【委員】文章の内容として、『1. 現状』と『2. 現実的に目指せる状態』は整合性がとれている必要がある。『はじめに』も大事だが、『1. 現状』を元に、『2. 状態』を続けていくのが望ましいのではないか。

【委員】2の状態と、3の理想はあえて分けなくてもいいのではないか。2の状態を述べる中で、目指したいものがあるからその具体的施策を行うというのであれば、2の状態に理想が含まれるのではないか。

【副議長】当会として、いちばん訴えたいのは、2の状態だと思う。そのため、みなさんの意見がいちばん反映されるものが良い。まずは、1の現状について、共通認識をもつため、進めていきたい。

【委員】現状のハイティーンのところ、委員それぞれの意見がでていることから、真逆の意見になっている部分があるが、その点はどうすべきか。

【委員】確かにマイナスのイメージというのも一部あるのは現実だとは思いますが、あくまでも一部である。あまりに前面に出してしまうと、それが半分あるいは多数と受け止められてしまう感も否めない。

【委員】会議の中では、いろんなパターンのハイティーンについて協議をした経過があるので、マイナスイメージがあっても理解はできる。一方で提言書では、これからのことについて進言することから、肯定的な側面で考えていく方がよいのではないか。子どもの力はこんなにある、という書きの方が望ましいと思う。

【委員】読み手のことも考える必要があるが、最初の出発が「地域にハイティーンが少ない」というところだった。課題があるからこそ、そこに問題意識をもって課題解決を行っていくということを考えると、課題はきちんと捉える必要がある。課題の書き方に一考が必要。

【委員】話し合いの中で、ハイティーンに対する期待感をもっていった。課題を認識し、期待感をもって目指せる状態を考えていきたい。

【委員】友達について、「関わりに重点をおいている」「関係が希薄」と対照的な言葉

があるが、この世代にとって、友達がとても重要なことは確かであり、一方で、傷つきやすかったり、些細なことでトラブルになったり、関係をとることが難しい現状があるということが読み取れる。

【委員】現状の中で、地域コミュニティと大人がわかれているが、これまでの会議で一緒にしてもいいのではないかという意見があったと思う。分類として、地域に大人を含める方がよい。

【委員】今の時代は、コミュニケーションを取らなくても、何でもできてしまうが、話し合いをしながら人間同士を知りあって、成長していこうというのが地域の目指してきているところだと感じている。

【委員】現状の部分として、いろんな要素が入っているので、複雑になってしまう。もう少しわかりやすくするために、①ハイティーンが地域・大人にどのように関わっているか、②地域・大人がどのようにハイティーンに関わっているかの2本にしてみたらどうか。

【委員】ハイティーンの中で、友達の重要性はある。実際、地域がイベントを用意した時に「友達がいるから行く」ということも多々ある。もちろん一人で参加する子もいる。現状は2本の柱として、『はじめに』などで、友達について触れられると良いのではないか。

【委員】1の現状＝課題があるから、2で方策をたてるという流れなのであれば、その効果を出し、あえてデメリットは入れなくてもよいのではないか。デメリットに書かれている部分については、1の現状につながる部分が多い。

【委員】『はじめに』の中で、「目指す意味・必要性」をふれてもらうのがよい。2の現実的に目指せる状態については、①方策、②効果にまとめるのはどうか。

【委員】現時点で出ている方策については、既存の事業もあれば、これからやると良いのではというものもある。

【委員】出ている項目について、委員が全て書くというのではなく、視点をわけて分担するのはどうか。

【委員】この方策の部分が、提言書の中でいちばん重要となることから、案はいろいろあった方がよい。

【副議長】次回読み合わせができるように、①方策、②効果について、委員がそれぞれ書ける範囲で、出してもらおうということでよいか。

【委員】了承。

『はじめに』『現状』を議長、『現実的に目指せる状態』の方策と効果について、各委員がまとめて、事務局へ、3月1日（金）までに提出。

次回会議日程

平成30年度第8回会議

日程：平成31年3月14日（木）午後7時～

場所：教育委員会 会議室

3. 閉 会